



TCA ニュース

= 2002年8月発行 = 【No. 165】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-11 Tel・Fax 03-3541-6540

サイクリストの五楽 輪楽・自転車を楽しみ 行楽・旅を楽しみ 道楽・道を楽しみ 友楽・友を楽しみ 遊楽・遊びを楽しむ

事務局からのお知らせ



9月1日(日) 第37回『視覚障害者とタンデムを楽しむ集い』

今年の夏は暑い日が続いています。今回の『視覚障害者とタンデムを楽しむ集い』は、神宮外苑サイクリングコースです。9月とは言えまだまだ残暑が厳しいと思いますが、ボランティアとして参加協力して頂ける方は、事務局 中村 (TEL 03-3541-6540) までご連絡下さい。ご協力頂いた方には昼食を用意します。

当日は、午前9時までに神宮外苑サイクリングセンター前に集合して下さい。

10時よりスタートし、12時までサイクリングを楽しみます。

なお、雨天の場合は中止となりますので、当日不明な時は事務局(携帯070-5025-6867)にお問合せ下さい。

2002 東京シティサイクリング打合せ会

昨年の大会と同様にスタッフについての打合せ会を下記の通り開催いたします。

- 開催日：9月10日(火) 19時～21時
- 会場：文京区民センター 2A会議室
- 内容：TCAの担当分担の説明及び各担当割について

打合せ会では軽食を用意しますので、出席できる方は事前に事務局へご連絡下さい。

平成14年 都民スポレクふれあい大会開催

毎年、都民の日の関連行事として『都民スポレクふれあい大会』が開催されます。当協会でも、サイクリング教室として「初心者乗り方教室」を行ないます。

また、「サイクル・オリエンテーリング」を春に続いて今回もパレスサイクリングをスタート・ゴールとして開催します。

OL未経験の方もゲーム感覚の『東京いいところ・・・』を楽しんでみませんか。

詳細のお問合わせ・申込は、事務局まで。(実施要領は春とほとんど同じです)

- 日時：9月29日(日) 9時～15時(受付前に9時までに集合) 雨天順延
- 会場：パレスサイクリングを中心として半径4kmの範囲
- 参加費：東京会員 500円、他県協会員1,000円、一般 1,500円(払込まれた参加費は返却いたしません) 東京会員は事前に申込んであれば当日支払いでも可。
- 締切り：9月21日(土)まで。

【7月末現在 会員数 278名】



TCA一泊ラン

木賊温泉と地酒と・・・

2002年7月20日(土)～21日(日)

【その1】

TCA会員：中田 修二

夜中の2時過ぎまでかかって取付けたDAHONの専用リアキャリアとリアバックは、とても便利で大正解でした。(この日に間に合うよう手配してくれた磯部さんに感謝)

早朝5時に家を出発。勝田台駅に着き、自転車からリアバックをワンタッチではずし、自転車もワンタッチで折りたたみ、駅に着いてから5分後には車中の人となりました。

浅草駅に集合したのは、湯西川温泉駅で下りる峠越えコースの北川さん他6名と、会津高原駅で下りる舗装路コースの2グループでした。私は舗装路コース組の加藤さん(副会長)と偶然隣り合わせたお陰で、車中の約3時間の間、加藤さんの貴重な欧米文化論や健康談義を独占する幸せに恵まれました。おまけに、いつも駅に着いてから行うストレッチも、加藤さんの真似をしているうちに会津高原駅に着くころには完了していました。

会津高原駅での自転車組み立ては、お互いにあっという間に完了。2台のDAHONは、まず中山トンネル(全長500m)を目指しました。会津高原駅からトンネルまでの約6kmは曲がりくねったかなりの登りで、加藤さんは「走り始めは体を慣らすために早めに休憩をとる必要があるよ」と言って途中数回小休止をしました。しかしこれは、すいすい前を走る加藤さんの後ろから、ふうふう言ってやっとこさの思いで付いて行く後輩に対する気配りに違いありません。トンネルの中ほどがピーク(新中山峠980m)で、トンネルの横が開けているので休憩をかねて外に出てみました。ここからはトンネルの中とは言え下りで、しかも幅員も11mあり快適に走れました。トンネルを出て更に4km下ったところに『そば処ばんや』という感じの良い店を発見。二人とも迷わず昼食とし腰を落ち着けました。この蕎麦がとても美味しく大満足。明日もここで蕎麦を味わおうということで意見が一致しました。昼食後もこんなにいつまでも快適に下っていて良いのだろうかと思うほど下りは続きました。下っていく途中に『きこりの店』という大きな木工センターがありました。ここ南会津は木工のメッカでもあります。店内には、家具日用品に加え仏像などの彫刻品、木材各種、工作道具などがあり、木彫講座、漆工芸講座なども開設されていました。木の香りが清々しくあまりに素晴らしいので、店の従業員に「お店の中で写真を撮ってもいいですか」と聞いたところ、「どうぞ自由に」との有難いお言葉でした。しかし、折りよく開催されていた一般の展示会は、個々人の許可なく撮るわけにはいかないとのことで、此方は撮影禁止でした。そのあと、館岩村観光物産館に立ち寄り地図などの資料を入手してから、館岩村役場を左折し、峠越えコースの仲間が通ると思われる湯の花温泉、水引曲屋集落に登って行きましたが、時間が早すぎたようで仲間とは落ち合うことができませんでした。

水引集落で萱葺き屋根を葺き替えている様子などカメラに収めてから、唐沢峠に取り付きました。登りが始まったと思ったらすぐに舗装が切れてダートになり6kmある峠の登り下りの大部分が工事中を含めたダートでした。道もぬかるんでいたため一部押して歩きました。峠を過ぎ舗装路に入るとまもなく木賊温泉への分岐に出ました。左折して宿への登りに入った途端に加藤さんが急に左折し脇道に入りました。おやどうしたのかなと思うまもなく、木賊温泉の共同浴場『広瀬の湯』でした。300円也を払って温泉の広い湯船につかり、汗を流して表に出るとまだ時間は3時、加藤さんが広瀬の湯のおやじに「近くに食事のできる処はないですか」と問えば、「すぐ橋を渡ったところに一軒あるよ」との答え。

今夜の民宿『若松屋』へは左折の登り、右折して橋を下ればレストラン。「当然右折でしようね」と二人とも期せずして唱和。店の名は『いろり喫茶パルジュ』。ちょうど店の前で車から出てきた夫婦連れと一緒にになりました。店の主人が出てきて「今日は蕎麦しかないよ」とのこと、我々は蕎麦が目当てですから迷うことなく店内へ。くだんの夫婦も続きました。店の中は、モダンな店名とは違って中々良い感じの和風造りでした。それぞれ大きな和テーブルに陣取って、ゆったりと風呂上りのビールとさわやかな山菜を味わうことができました。くだんのご夫婦は岩魚釣りに来たとのこと。店のご主人も出てきて岩魚釣りの話が始まったところで訊きました。「骨酒はないでしょうね」。時間も早いのでもちろん期待はしていませんでしたが、案の定「残念ながら岩魚を切らしているから」とのこと。しかし、店主いわく「骨酒なら、岩魚よりもっと美味しいのがあるよ、鰻の骨酒だよ」と。すかさず「まさか今はないでしょうね」

キッチンで山菜のつまみと蕎麦を準備していた女将さんに、

「おい、かじかはあるか」と店主が聞くと、

「はい、できますよ」と天の声。

こうしてわれわれは写真にあるように鰻の骨酒に舌鼓をうつ幸運に恵まれました。美味しい天の恵みにつられてか、加藤さんの楽しい漫談は、店主と、くだんの夫婦の掛け合いも弾み、大いに盛り上がりました。

もちろん、この夜の700年続く川原の露天岩風呂も、民宿『若松屋』の食事も、地酒も、宿の女将やみなさんの心配りも素晴らしいものでした。



【その2】

TCA会員：北川 常夫

東武浅草駅まで走って改札へ行ったら6:20の快速が発車するところだった。携帯で磯部君に何人で乗っているか聞いたら「三人で待っている」との返事。「だって今、発車しているよ」「いや、北千住駅に居るからもうすぐ来る」従って、磯部・新庄・宮沢の3氏が湯西川温泉から田代峠への第一班で、奇しくも同じルイガノの白いMTBが3台。

下まで戻って、ばらし始めたら加藤副会長が走ってきた。その後に青野さん、小川さん。準備が終わって時間があるのでコンビニまで名簿のコピーに行ったら6:50吉田君から電話で「もう乗っています」とのこと、7:10発なのに？改札へ行ったら中田さんもいた。杉原君が切符を買ってきて7名集合で電車に乗り込む。古藤田君は北千住から、玉井さんは下今市から合流の予定。ところが北千住であまりの混雑に古藤田君を発見できず確保していた席も年配の婦人に明け渡す。下今市は車両切り離して停車時間が長い。ここで古藤田君が登場、特急が到着して玉井さんも乗り込んで来て都合12名の参加者を確認した。

加藤・中田両氏のダホンのミニ2台は、会津高原まで直行。小川さんと玉井さんが安ヶ森峠ルートに変更して7名が湯西川温泉駅で下車。ところが精算所でパスネットが使えない、今朝、浅草で買って来た『とーぶカード』なのに、こちらは野岩鉄道だから2000円のうち140円だけで残りは現金で払えとのこと確かにそうだけど。小川さんは、会津高原まで買っているから余った分を返してと言っても無視されていた。（これも当然か）

各自、組み立てを終えて10時半出発、湯西川温泉まで行けばスーパーで弁当が買えることを確認した。Panasonic 700cクロスバイク、アルプス650×35Aランドナーに、KHS、Schwinn、Cannondale、Louis garneau、SpecializedのMTBが5台。

一列になって走っていたら小川さんがパンクらしい、早速スペアチューブを出す。念のために古藤田君に穴の位置を確かめてもらったら、バルブと反対の辺りで内側とのこと、スポークが飛び出しているか確認したのだが判らない。まあ、いいやと交換して田中美千

代さんにももらったポンプの性能を見せびらかして空気を入れて走り出す。しばらくすると、付いて来ない。戻って再び修理し、改めてチェックしたらリムテープが切れかかっていたのが原因。ガムテープで補修する。

湯西川温泉に着いたがパンしか売って無いので、そばやへ入る。あまりの暑さに他の客と扇風機の奪い合い。食後そば湯をボトルに補給して小川さんが意気投合した昭和14年生まれの同級生の団体に見送られて出発。少し戻って安ヶ森峠の入口が1時、これから8kmの登りと16kmのダートの下りが始まる。登りは舗装路、早い人は1時間程度で登った。遅い連中もともかく登った。下りは石は少ないが砂が浮いていて700cとランドナーがかわいそう。MTBは、ここぞとばかりすっ飛んで行く。ところが途中で降って来たので木の下で雨宿り、ようやく止んだが今度は泥はねがひどい。かまわず下り、自動車を煽って追い抜いて十分に楽しんだ。登りの地獄が下りは天国・楽園となる。

湯の花温泉から唐沢峠を越えれば木賊温泉。登り始めたら工事中の砂利道で結構、苦労した。こちらは下りが舗装。やっと宿に着いたら他のグループは既に浴衣でビール。ともかく川原の露天風呂へ急ぐ。湯船と川に交互に浸かって楽しむ。

翌日は、JRまで行きたい玉井さんが先に出発。檜枝岐へ行く3名も続いたが磯部が戻ってきた。皆の金を集めて宿に払うのを忘れたと言う。我々は田代峠についての協議を始める。先ずは一緒に中山トンネル組に着いて行こうと全員で下り出す。国道を少しづつ登りながら車道と歩道で並走していたら「たのせ」の辺りで突然パンク。1.85の太いタイヤが一瞬にしてぺちゃんこになり、5cmくらいの釘が刺さっていた。



昨日、さんざん小川さんをからかったバチが当たったらしい。スペアチューブに交換して走り出す。前沢の曲屋を見物して出てきたら空気が甘い。別のチューブに交換して、気落ちしたので中山トンネル行きに決定。吉田君の「早く帰って自転車の手入れをしましょう」が説得力があった。

会津高原駅で加藤副会長と別れて山王峠を越えて新藤原駅を目指す事にする。そこなら東武の始発駅だし都合が良い。山王峠のトンネルを越えてパーキングでお弁当を広げたら、またもや雨が降ってきた。食べ終える頃には雨も上がって、後は下る一方である。

新藤原の駅に14:50到着して小川さんが駅員に聞いたら「ちょうどいいところです。後2分で急行が出ます」勘弁してよ、間に合うわけ無いので次の15:36に決定。パスネットが使えることを確認、ざまあみる昨日の敵討ちに成功。

仕度を済ましてホームに立ったら、また降って来て電車が走り出したら土砂降り。

吉田君が春日部で乗り換え、古藤田君と小川さん・中田さんが北千住で下車。浅草から杉原君は地下鉄に、駅から走り、吾妻橋を渡る青野さんと別れる。途中事務局へ寄ったが、中村さんはパレス帰りに飲んでいて留守なので会旗をお姉さんに渡した。